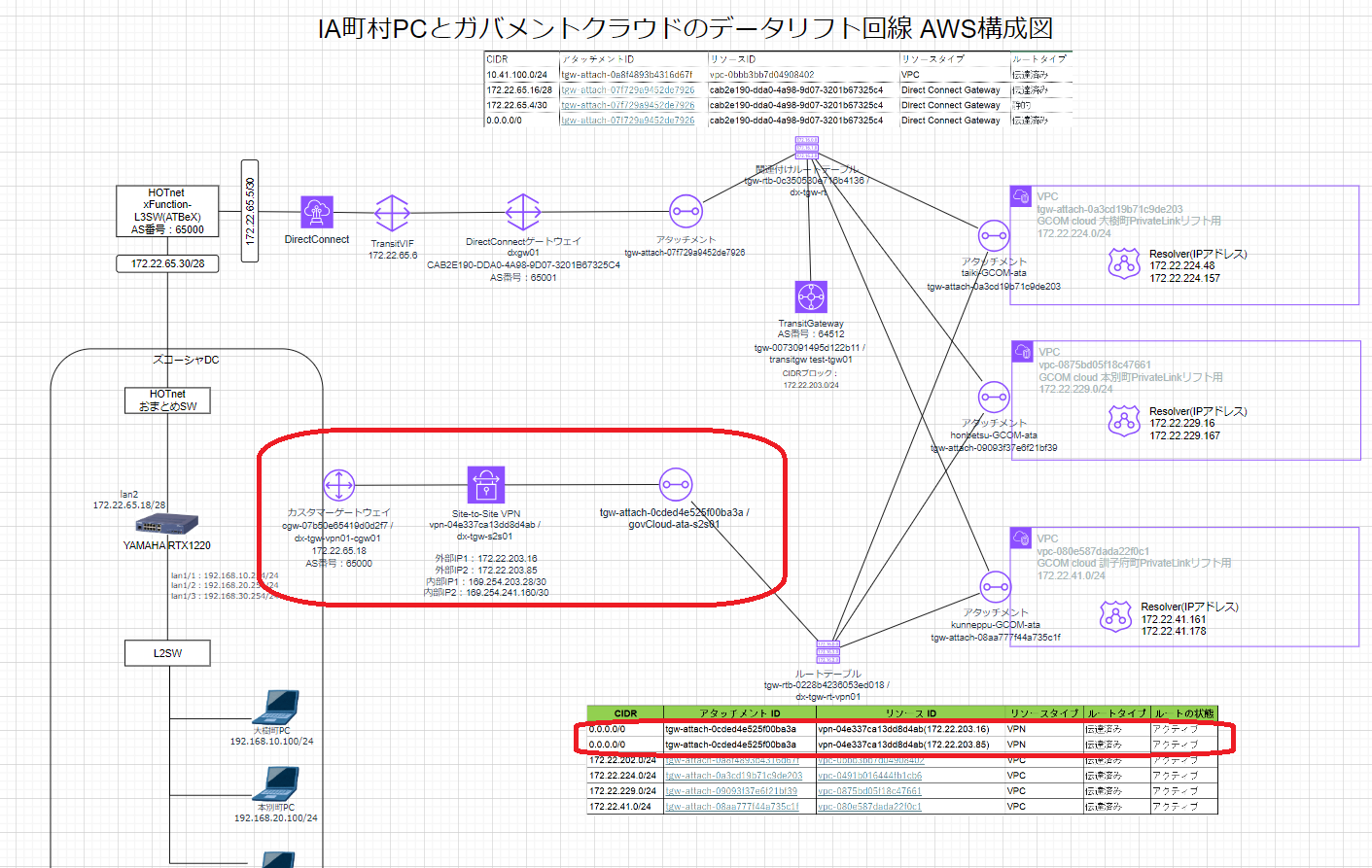
2025/04/10

ガバメントクラウド データリフト回線用Site-to-Site VPN作成手順

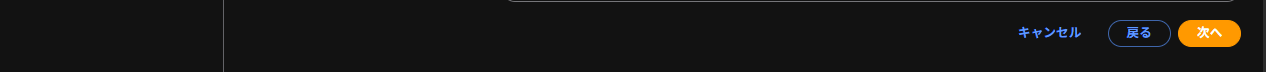
この手順書は、AWS（infraアカウント）上で、CloudFormationテンプレートを用いて ガバメントクラウド(GCOM)にデータリフトするためのSite-to-Site VPN 接続を構成するためのものです。本手順に従い、必要なリソース（Customer Gateway、VPN接続、TGWのルート関連設定）を自動で構築できます。



1. AWS マネジメントコンソールにログインします（infraアカウント）
2. サービス一覧から「CloudFormation」を選択します  
   
3. [スタックの作成]をクリック  
   モニター画面に映るウェブサイトのスクリーンショット

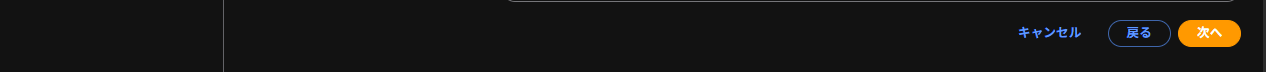
   AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。
4. [テンプレートの指定]-[Amazon S3 URL] 選択し、以下のURLを入力します：

|  |
| --- |
| https://gov-cloud-data-lift-cfn.s3.ap-northeast-1.amazonaws.com/GovCloud-DataLift-infraAccount.yml |

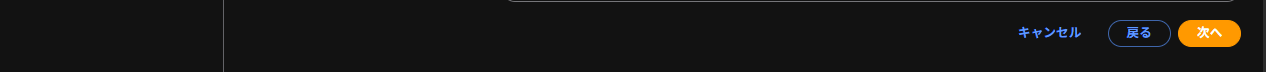
  
 [次へ]をクリック

1. 「スタックの名前」に以下を入力します  
   [GovCloud-DataLift]  
     
   パラメータは、特別な理由がなければ変更しないでください。

モニター画面に映る文字のスクリーンショット

AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。  
 [次へ]をクリック

1. [次へ]をクリック  
   パソコン画面のスクリーンショット

   AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。  
   
2. 内容を確認する  
   モニター画面に映る文字のスクリーンショット

   AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。  
     
   テレビ画面のスクリーンショット

   AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。  
   モニター画面に映るウェブサイトのスクリーンショット

   AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。  
   [送信]をクリックする
3. CloudFormationスタックのステータスが CREATE\_IN\_PROGRESSとなり処理が開始される  
   モニター画面に映るウェブサイトのスクリーンショット

   AI によって生成されたコンテンツは間違っている可能性があります。  
     
   CREATE\_COMPLETE
4. **作成されたリソースの確認**  
   スタック作成後、Outputsセクションやリソースタブで、作成された VPN Connection のIDなどを確認する
5. AWSコンソールからVPN設定情報（設定ファイルのダウンロード）を取得する。
6. ダウンロードした情報を元に、オンプレミスのYamahaルーターを設定する。
7. BGPセッションの確立と経路交換を確認する。
8. 接続テストを行う。